

醸造責任者のケヴィン・ミッチェルは、クロノドルフ、オーランド、BRLハーディ、ダーレンベルグ、キングストン・エースト、ケンダル・ジャクソン、ウィラメットヴァレー(米国)など数々の国内外のワイナーで醸造の経験を積み、キリカヌーンとしての2種類のワインを1998年に初リリース。ミッチェル家は元々クレアヴァレーで30年以上栽培家として活躍してきましたが、ケヴィンがスキロガレヴァレーにあるキリカヌーンと知られていた設備を購入し、その名が与えられました。シラーズやリースリング、カベルネなど主なブドウは25年前にクレアヴァレーのリーシングハム地区にあるモーツ・ブロックとブロック・ロードの区画の中に植えられており、高い樹齢を誇ります。



Cello Shiraz  
チェロ・シラーズ

2018  
2,200円



地方：南オーストラリア  
原産地呼称：南オーストラリアGI  
品種：シラーズ100%  
醸造：フレンチとアメリカのオークで15ヶ月熟成。清澄、ろ過なし。

750ml **赤**

芳醇なフルボディの味わいで、キリカヌーンが誇るシラーズが余韻長く広がります。  
ラベルに描かれているチェロは、キリカヌーンのオーナーであったネイサン・ワックスがシドニー交響楽団の首席チェロ演奏者であったことに由来しています。